

令和5年度 学校自己評価システムシート 日高市立高萩小学校

目指す学校像	みんなで創る 笑顔あふれる おらが地域の学校
重点目標	確かな学力の向上 豊かな心の育成 健やかな体の育成

学校自己評価		年度目標		令和5年度評価 (1月20日現在)		達成状況		達成度	次年度への課題と改善策
評価項目	具体的方策	評価指標		A+Bの割合(%)				A	
				職員		保護者			
				R4	R5	R4	R5		
組織運営の充実 (小中一貫の視点)	小中共通の学校教育目標(かしく、かしくたくましく)の具現化	1	思いやりの心を育み、進んで学ぶ児童の育成に努める。	100	96	80	88		・小中一貫教育の更なる充実に向けて、小中の話し合いや連携を強化していく。学校運営協議会等の助言・支援を生かしながら、地域の学校として機能できるよう様々な取り組みを行っている。 ・現在、小中学校教員が小学校へ乗り入れ授業を行っているが、小中学校教員も可能な範囲で、中学校の授業に参加して、互いに児童生徒の様子を把握していきたい。 ・また、風学力調査、新体力テストの結果分析から課題を明確にし、小中合同連絡会で具体的な手立てを検討して、さらに授業改善に努め、児童の学力・体力を高めていく。
		2	外遊びを奨励し、体育授業を通して体力向上に取り組んでいる。	100	100	79	95		・コロナ禍の影響で最も多くの影響を受けてきたと思われる体育関係の取組も、本年度からほぼ従前どおりに出来るようになったことがよい結果につながっている。また、休み時間の外遊びやクラブ活動も中学校の校庭を借りて、体力向上につなげる運動好きな児童を増やすことができた。
基礎学力の定着	わかる授業の実践と学習習慣の定着	3	めあてとまとめが明確で分かりやすい授業に取り組んでいる。	88	96	79	88		・主体的・対話的で深い学びのある授業改善を更に深めるため、授業改善のPDCAサイクルが確立できた。 ・個人のタブレット端末を活用して、欠席児童等へのオンライン授業(国語・算数)を実施したことも効果的であった。 ・本年度から算数科の研究・研修に取り組んだ。低中高等学校で6年生的に指導者を招聘しての授業研究会を実施して、授業力向上に取り組んだ。
		4	授業規律の定着や家庭学習の充実を通して、学習習慣を身につけさせている。	96	88	80	86		・主体的・対話的で深い学びのある授業改善を更に深めるため、授業改善のPDCAサイクルが確立できた。「課題を明確にし、わかりやすい授業に取り組んでいる」の教員自己評価を100%にする。 ・日常的に読書に親しみ子どもたちの育成が課題であり、重点的に取り組む必要がある。 ・タブレットをより効果的に使いこなす児童が高い学習成果が上げられるよう研修を進め工夫をしていく。 ・家庭学習でも、タブレットなどを使うことで家庭の負担を減らしつつ効果も上がるものを取り入れていく
保護者や地域との連携 (コミュニティスクールの視点)	みんなで創る 笑顔あふれる おらが地域の学校 (目指す学校像)の具現化	5	授業や行事等の様子について、各種たよりを通じて教育活動の情報提供に努めている。	96	96	77	90		・保護者にとつてより一層利便性が上がるよう、様々な方法を取り入れ情報を公開していく。また、保護者への公開授業・懇談会の充実、各種行事でのアナウンスを充実させることでより一層開かれた学校を推進する。 ・立ち上がった地域学校協働本部を中心により一層効果的・効果の高い支援の在り方を模索していく。 ・保護者アンケートでPTA活動に対するご意見を多くいただいた。市P連と連携しながら、現代のニーズに合ったPTA活動の在り方を考えていく。
		6	PTAや中学校、保護者・地域の方々と連携して、児童の育成に努めている。	96	96	80	87		・保護者にとつてより一層利便性が上がるよう、様々な方法を取り入れ情報を公開していく。また、保護者への公開授業・懇談会の充実、各種行事でのアナウンスを充実させることでより一層開かれた学校を推進する。 ・立ち上がった地域学校協働本部を中心により一層効果的・効果の高い支援の在り方を模索していく。 ・保護者アンケートでPTA活動に対するご意見を多くいただいた。市P連と連携しながら、現代のニーズに合ったPTA活動の在り方を考えていく。
社会性・人間性の育成	よりよい人間関係の育成	7	たてわり遊び等の異年齢集団活動を行い、豊かな心の育成に努めている。	92	100	83	96		・運動会や縦割り遊びを充実し、異年齢集団の交流を通して豊かな社会性を育成し、本校の特色としていく。また、無言での教室移動や清掃を更に充実させ落ち着いた学校生活を維持発展させていく。 ・地域学校協働本部(学習部)との活動を増やし、できる範囲で授業等の支援体制を考えていながら児童の学習活動を充実させ、豊かな心の育成に取り組んでいく必要がある。
		8	授業での学校応援団の活用に向け、整備・充実を図る努力をしている。	73	85	77	88		・今年度より配置が充実したスクールカウンセラーのより一層の活用を進めるとともに、市相談室等との連携を密にして、不登校・いじめ等の諸問題に迅速に対応していく
安心安全な教育環境	安心安全な環境づくりといじめ問題への対応	9	児童を安心安全に通わせることができる学校づくりに努めている。	96	100	77	85		・今年度より「危機管理マニュアル」を毎年見直し・改善していき、その成果として、事故防止であった。今年度当初に全職員で研修を実施し、共通理解を図る必要がある。 ・見守り隊の方々と情報交換を密にするのと同時に警察とも連携して対応にあたる。 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応が適切に行われるよう、毎月一回の定例会の他、保護者・地域・関係機関との協力体制を充実させる。 ・今年度より配置が充実したスクールカウンセラーのより一層の活用を進めるとともに、市相談室等との連携を密にして、不登校・いじめ等の諸問題に迅速に対応していく
		10	学校は、いじめの早期発見・早期対応に努めている。	100	100	76	79		・見守り隊の方々と、連携を密に取りながら児童の安全を見守ってきた。その成果として、事故防止であった。今年度当初に全職員で研修を実施し、共通理解を図る必要がある。 ・見守り隊の方々と情報交換を密にするのと同時に警察とも連携して対応にあたる。 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応が適切に行われるよう、毎月一回の定例会の他、保護者・地域・関係機関との協力体制を充実させる。 ・今年度より配置が充実したスクールカウンセラーのより一層の活用を進めるとともに、市相談室等との連携を密にして、不登校・いじめ等の諸問題に迅速に対応していく

学校運営協議会での評価
実施日 令和6年1月23日
学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい教育実践が行われ、保護者がそのことを理解しているから90%を超える評価となっている。・校長のリーダーシップのもと円滑な学校運営が行われている。</li> <li>・先生方が良く頑張っている様子が推察される。</li> <li>・小中学校の先生方が連携することで、中1ギャップが解消されるとい。</li> <li>・校庭の工事が終わり通常通りの行事が出来たことで保護者の評価が回復したのだから。運動会も楽しくなった校庭で工夫しながら実施できたことも良かった。</li> <li>・行事に参加するたびに児童が楽しそうに活動している姿を何度も見ました。これからもたくさん見たいです。</li> <li>・保護者アンケートの改善が見られたのは、成果として評価できます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい事始めること(算数の研究)はエネルギーがいりませう。これからは子どもたちのためにチャレンジする先生方であってほしい。</li> <li>・算数の研究・研修の成果が現れるのは数年後になると思おう。保護者の評価も長い目で見ていく必要がある。</li> <li>・算数の授業が少人数で行われているのを拝見しました。先生方の目が行き届くと思うので学力向上を期待します。</li> <li>・欠席児童に対して、オンライン授業が出来たことは保護者として安心できる。</li> <li>・児童がタブレットを使いこなしている。</li> <li>・家庭学習は、学校での勉強の続きとなる。授業の充実がカギとなると考えます。</li> <li>・コンピュータの使い方、ネットリテラシーなどにしっかりと取り組んでほしい。</li> <li>・コロナも落ち着き保護者が授業参観・行事に参加することが出来る学校の様子が分かるようになったことが嬉しいでしょう。</li> <li>・児童が見守り隊やボランティアの方々が安全や学校美化化してくれていることが分かるようになっていきたきたい。</li> <li>・コロナ禍では、子どもの話を聞くことで学校の生活が見えなかったが、今年度からは行事・公開があったのでよく見られて分かった。</li> <li>・地域、PTAとの連携の場が多くあり良いですね。PTA関係は、状況の変化が対応に工夫が必要になってきているのではないのでしょうか。</li> <li>・公民館の活用が図られているのは良い。</li> <li>・情報の伝達がよりスムーズになっていると感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働本部に加入して下さる方を増やしたい。幅広い世代に加入してもらい、活動を継続していけるようにしなければならぬと思ひます。</li> <li>・地域学校協働本部の活動は、今できることは出来ていると思う。これから少しずつ増やしていければよいと思う。</li> <li>・縦割り活動では、音がそれぞれの役割を明確にしてとても良い雰囲気を感じました。</li> <li>・6年生のリーダーシップが発揮される場を設けたことは、良い勉強になったことと思う。</li> <li>・中学生との交流をより活発に進めていくが課題であると思う。</li> <li>・地域学校協働本部との活動を充実し地域との交流をより一層深めてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の事故が0だったことは、本当に素晴らしい。これは、先生方や見守り隊、地域の方々と協力した結果です。</li> <li>・あいさつ運動の日に学校まで行く地域の人が大勢いてみんなで児童の安全を見守っています。これからは地域の人々に委ねられる学校を願っています。</li> <li>・保護者との評価の差がどこから来るのか考えて、評価の差が埋まるよう、不断の努力を続けてください。</li> <li>・いじめについて学校や先生方は、とてもよく対応していたと思う。しかし、残念なことだが、いじめはなくなることがないものだと思う。「いじめられている」いじめられたら隠れてしまうのであるが、保護者の評価を上げるのは難しいだろう。</li> <li>・アンケート・個別面談等を実施していじめに対応したことはいいことですね。</li> </ul>